

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	福祉部高齢福祉課
施設名称	18	東京都台東区立特別養護老人ホーム千束	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		指定期間	R2.4.1 ~ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち1,763.54㎡ RC造 地上7階地下2階のうち3、4階の部分駐車場（共用）、居室、浴室（機械浴、一般）、静養室、医務室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助（食事、介護（排泄・入浴援助））、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の ^{清潔整頓等} [自主事業] なし
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 30名 (内 訳) (施設長1（特別養護老人ホーム浅草と兼務）、医師（嘱託・内科2精神科1）、生活相談員（常勤2）、介護職員（常勤16、短労1、臨時職員3）、看護職員（常勤3）、機能訓練指導員（臨時職員2） ※人員体制数は施設長除く (前年増減) 2名増（医師+3、介護職員（常勤+2、臨時職員-2）、看護職員（非常勤-1）

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	51,764,056	51,764,056	66,050,870	66,050,870
	利用料金収入	133,560,944	130,096,402	133,285,130	128,894,693
	その他収入（ サービス区分間繰入金等 ）	20,135,000	25,290,841	10,403,000	6,785,326
	計	205,460,000	207,151,299	209,739,000	201,730,889
支出	人件費	145,928,000	153,551,350	148,146,000	142,699,703
	光熱水費	6,033,000	5,501,789	6,938,000	5,234,313
	維持管理費（委託料・賃借料）	25,415,000	25,115,842	25,976,000	25,525,479
	修繕費	1,500,000	743,454	1,500,000	502,358
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（ 給食費等 ）	26,584,000	21,806,892	27,179,000	30,625,626
計	205,460,000	206,719,327	209,739,000	204,587,479	
収支			431,972		-2,856,590

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
入所定員（ショートステイ）	人	31	31	31	31

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率（特養+ショート）	%	94.3	99	95.9	94.3
利用者数（特養+ショート）	人	10,665	11,199	10,885	10,665

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況
支出面について、管理経費を全体的に見直し、人件費の抑制を図った。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令、通達等に基づき施設運営を行っており、実績報告書等、施設から区に対しての提出書類については適切に行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	施設における人員配置に当たっては、基準以上の人員を配置し、適切なサービスの提供が行えている。新型コロナウイルス感染症の影響によりやや利用率は下がったものの、おおむね良好である。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	前回の施設改修から年数が経っており緊急工事が必要な事例が多いが、その都度区職員と連絡を取りながら適切に対応が行えている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	サービス利用者・家族を対象とした利用者満足度調査においては昨年に引き続き良好な結果であり、適切なサービス提供が行えている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用率が目標値に満たなかったことから利用料収入が減少し、収支としてはマイナスとなったものの、人件費等の支出面については対昨年度比で大きく削減することができ、年度当初の目標も達成できた。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (97 / 110点)	<p>【所見】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けたため利用率はやや目標を下回ったものの、感染症対策に取り組みながら施設運営を続けており、おおむね良好といえる。施設利用数の水準も年度末にかけて以前の水準に戻りつつあり、回復傾向である。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 新型コロナウイルス感染症の影響で年度当初のショートステイの空床が生じたこと等により全体の利用率が減少、収支がマイナスとなった。引き続き感染症対策を行いながら、利用率を維持し、より安定した施設運営が求められる。</p>